

研究の実施に関してポスター、ホームページ等により公表する文章

研究課題名：「肝細胞癌に対する肝動脈塞栓術：技術的側面と予後についての後方視的研究」

1、【対象】 当院、放射線科において2003年1月～2004年12月に肝動脈塞栓術(以下TAE)が行われた方が対象となります。

2、【研究機関名】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

先進治療科学専攻腫瘍学講座 放射線診断治療学分野

3、【目的】 本研究は肝動脈塞栓療法研究会とIVR学会が協力して全国調査を行い、TAEの本邦における現状を把握し、TAE後の予後調査を行うものです。今回調査では特に技術的要因が予後に与える影響を検討し、患者さんの治療成績の向上に役立てることを目的とします。

4、【方法】

①肝細胞癌に対するTAEを施行した患者さんの臨床診断、画像診断、塞栓術の手技、再発の有無を評価します。

②各施設で上記の項目について調査票の記入を行い、肝動脈塞栓療法研究会とIVR学会が協力してデータの解析を行います。

5、【意義】

本研究により肝細胞癌における肝動脈塞栓術の役割が評価でき、肝動脈塞栓術のより正確な治療適応の確立に役立てることができると期待されます。

6、【個人情報の扱い】

調査結果の発表や出版に関しては個人が特定されるような情報は掲載しません。また得られた資料は研究計画書に記載した以外の研究には使用しません。個人情報は鍵のかかる保管庫で管理し、研究終了後に破棄します。

7、【問い合わせ先】

鹿児島大学大学医学部・歯学部附属病院

放射線診療センター（放射線科）

助教 林 完勇

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目3番1号

Tel 099-275-5417 Fax 099-265-1106